

地域で活発に活動している団体を紹介します。

がんばってます

=2020年に向かって！カウントダウン=

NPO 法人 まちづくりサポートひと・まち倶楽部

1月10日「誇らしげに晴れ着姿で胸を張った新成人」に混じり、ふれプラの玄関口を「半世紀前の成人」が若干の緊張感を漂わせながら、「プレゼンテーション」が行われるふれあいプラザ3階大会議室に向かっていました。

昨年10月から「内閣府・地方の元気再生事業」をNPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブが主催し、千葉県の後援を得て、まちづくりサポートひと・まち倶楽部が地域委託をして進めてきました。千葉大学大学院の准教授と学生がファシリテーションを行い『この町を住みやすい、心地よい町にするために！どうする どうなる10年後の栄町』をテーマにワークショップを重ね、この日が最終の事業プレゼンテーションでした。

内容は4グループ。

1. 食と職で地域をつなげよう！ 栄町の特産品開発事業
 2. かぶりつける野菜を作ろう！ 地域・農村・都市の住民間の交流事業。
 3. しょいこおばさん お届けします！現代版・行商とどこでもカフェの交流事業。
 4. ミュージカルワールド！ 一人ひとりが主役 町の活性化を目指した文化事業。
- 劇やショートミュージカル、パワーポイントを使ったプレゼン。おいしい試食品を食べながらの交流会也大いに盛り上がり、次のステップを期待させるものでした。

これらの事業の推進を起点として「10年後の有るべき栄町の姿」を目指して、新成人の巣立ったこの日からカウントダウンをしてまいります。この巣立ったばかりの事業を厳しく検証・評価頂き、ご助言、ご協力を賜ることはもとよりですが、「事業への参加」を頂き、10年後の事業の伸張を共に見届けて頂ければ幸いです。

理事長 塚田 湧長

地域で市民活動をしている人たちの「はじめの一步」を紹介するコーナー



私はこれで
はじめました！

私は栄町に昭和六十年、印旛そば石亭を開業しました。以来栄町の皆様に愛され、経営も順調に進んできました。数年後、このままでいいのかなあと考え、私にも栄町の活性化のお手伝いができないかと思っていた時、平成五年に栄町観光協会が設立され参加することになりました。その後、さくら祭りや白鳳の道の整備などに携わってきました。

以前はボランティアの人も少ない状態でしたが、現在は多くの団体が生まれ、多数のボランティアの人達が活躍している栄町になってきました。この人たちの善意が大きな輪になって育ち、明るい栄町になると信じています。

私も栄町の一町民として誇りを持って参加し、今後も笑顔で楽しくお手伝いさせて頂きます。

ありがとうございます。

石森 弘吉

【NO. 12】